

南水研発リカレント教育プログラム

愛媛大学水産人材育成講座

— 基礎編・水産学概論 —

2023 年度受講者募集要項

愛媛大学南予水産研究センター

1. プログラムの目的

愛媛県は、全国第3位の漁業・養殖業産出額を誇る水産県であり、水産業は南予地域の基幹産業として、地域経済に大きく貢献しています。しかし、近年、我が国では水産資源の減少による漁獲量の長期的な減少、漁業就業者の減少・高齢化、水産物消費の減少と魚離れ、魚価の低迷など、水産業を取り巻く状況は一段と厳しく、地域経済への影響が懸念されています。一方で、海外では水産物の消費が増大し、世界の水産物貿易も増加するなど、水産業はこれから成長産業として注目されております。

このような国内外の状況を踏まえると、我が国の水産業にイノベーションを起こせるような人材の育成と、それらの人材を通じた地域創成が求められるところであり、本県における水産業の重要性に鑑み、さらに社会人の学び直しニーズにも応えられるよう、改めて水産学を学ぶ講座を開設します。

2. 募集人数

30名程度

※ 募集人数を大幅に超えて応募があった場合は、抽選によって受講者を決定させていただきます。

3. 受講資格

漁業者、水産業者、漁協等職員、自治体等職員

商工業者、農林業者、農協等職員、金融関係者、高校生

その他、水産の資源活用、地域振興、産業創出等について学ぶ意欲のある者

※ 水産企業や団体の新入社員等の従業員育成にもご活用ください。

※ 水産業に興味のある高校生の高大接続にもご活用ください。

※ 講義には、愛媛大学社会共創学部の学生が参加することもあります。

4. プログラムの内容

(1) 講座の構成

「愛媛大学水産人材育成講座」は、毎年度後半に開催する「基礎編」と毎年度前半に開催する「応用編」によって構成されています。「基礎編」は、水産学のほぼ全分野にわたる基礎的内容で、毎年ほぼ同じ講義を行います。「応用編」では、宇和海の水産業にイノベーションを起こすこと、水産業を中心として地域を活性化すること、などを考える講座を、毎年内容を一部更新しながら開催します。

今回は「基礎編」の募集ですので、昨年度開講の基礎編とほぼ同じ内容です。

(2) 講座内容とスケジュール（予定）

- ・ 講座は、令和5年10月から令和6年2月の5か月間、毎月1回、第3土曜日に開催します。
- ・ 講義は1コマ90分で、1回の講座あたり3コマ、計5回の講座で15コマを行います。（※大学での2単位に相当します。）
- ・ 毎月の講座内容とスケジュールは、別表のとおりです。

(3) 講座の開催方法

- ・ 講義は、愛媛大学南予水産研究センター船越ステーション（愛媛県南宇和郡愛南町船越 1289-1）での対面形式と、オンライン会議アプリ「Zoom」を使用しての非対面形式とのハイブリッド形式で行います。なお、都合により、講師がオンラインで参加する場合もあります。
- ・ リアルタイムでの参加のほか、講義を収録した動画を YouTube チャンネルにて約 1 か月間、受講者に限定配信しますので、都合に合わせた受講が可能です。

(4) 修了要件と修了証明

- ・ 講義の 7 割以上の出席（11 コマ以上）と、受講した講義のレポートの提出で修了を認定し、「修了証」を発行します。
- ・ なお、出席確認は、レポートの提出をもって行いますので、講義を受講した場合は必ずレポートを提出してください。

5. 申込手続

講座の受講を希望される方は、下記により申込を行ってください。

(1) 申込期間

2023 年 8 月 4 日（金）から 9 月 4 日（月）まで

(2) 申込書類

「受講申込書」（別紙様式）に記入のうえ、以下のとおり提出してください。

※ 以下のサイトから、受講申込書をダウンロードすることもできます。

URL : <http://ccr.ehime-u.ac.jp/cnf/news/nansuiken-seminar-kiso-2023/>

(3) 申込方法

- ・ 申込方法は、郵送のみとし、期間内に配達されたもの及び 9 月 5 日（火）以降に配達されたもののうち、9 月 4 日（月）以前の消印があるものを受け付けます。
- ・ 直接持参しても受理できませんので、ご注意ください。

(4) 提出先

『郵送』 〒798-4292 愛媛県南宇和郡愛南町船越 1289-1
愛媛大学南予水産研究センター 事務室（電話 0895-82-1022）
『FAX』 0895-82-1026

(5) 注意事項

- ① 申込書類の記入にあたっては、誤りのないよう正確に記入してください。
- ② 申込後は、申込書類の記載内容の変更は認めません。また、申込書類は返却しません。
- ③ 申込書類に虚偽の記載があった場合は、受講許可後であっても受講の許可を取り消すことがあります。

- ④ 申込後に住所等の変更があった場合は、速やかに愛媛大学南予水産研究センター事務室へ連絡してください。

6. 受講手続及び受講料

申込書類受付後、受講の許可を判断し、結果を郵送で通知します。受講を許可する場合は、受講許可の通知と併せて、受講手続の書類及び受講料払込票をお送りしますので、下記のとおり受講手続を行ってください。

(1) 受講手続期間

2023年9月19日（火）から9月29日（金）まで

(2) 受講料

6,000円（高校生及びリピート受講生※は3,000円）

※リピート受講生とは、令和4年度までの水産人材育成講座を受講された方（修了の有無は問いません）をいい、令和5年度の応用編のみ受講された方は除きます。

7. 個人情報の取り扱いについて

本センターでは、提出された申込書類に記載された氏名、住所等の個人情報は、本センターにおける申込みの事務処理に不備等があった場合の連絡、及び受講手続関係書類の送付等のために利用します。

なお、申込書の不備等があった場合には、その訂正・補完を迅速に行っていただくため、申込みされること及び提出した申込書に不備があることを、申込者の自宅に連絡する場合があります。

また、同個人情報は、申込者の受講後に関する業務及び調査・研究（申込み動向の調査・分析等）を行う目的をもって本センターが管理します。

他の目的での利用及び本センターの関係教職員以外への提出は行いません。

◇ 本講座に関するお問い合わせ

愛媛大学南予水産研究センター 事務室

〒798-4292 愛媛県南宇和郡愛南町船越 1289-1

[電話] 0895-82-1022

[FAX] 0895-82-1026

[Email] suisanc@stu.ehime-u.ac.jp

※お問い合わせの際は、なるべくメールでお願いします。

	『愛媛大学水産人材育成講座－基礎編・水産学概論－』
10月21日(土)	<p>【I. 海と生物（基礎）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 開講挨拶 愛媛大学南予水産研究センター センター長 松原孝博 ○ 講座の概要説明 愛媛大学南予水産研究センター ○ 生物生産環境：海の流れと基礎生産、食物連鎖、基礎生産のメカニズム 愛媛大学南予水産研究センター 顧問・客員教授 武岡英隆 ○ 水産生物：水産魚介類の分類および生理・生態 愛媛大学南予水産研究センター 教授 高木基裕 ○ 遺伝と育種：水産資源の放流・遺伝的管理及び育種（II. 水産増養殖1） 愛媛大学南予水産研究センター 教授 高木基裕
11月18日(土)	<p>【II. 水産増養殖1（概論）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 水域環境保全：富栄養化、環境微生物、水域汚染（I. 海と生物） 愛媛大学南予水産研究センター 准教授 清水園子 ○ 水産増殖：水産増殖の実例 愛媛大学南予水産研究センター 教授・センター長 松原孝博 ○ 水産養殖：養殖方式の分類および主要養殖種 愛媛大学南予水産研究センター 教授 後藤理恵
12月16日(土)	<p>【III. 水産増養殖2（実践）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 養殖技術：養殖生産技術 愛媛大学南予水産研究センター 教授 後藤理恵 ○ 栄養と飼料：養殖魚の栄養と飼料 愛媛大学南予水産研究センター 准教授 斎藤大樹 ○ 赤潮・魚病：有害毒プランクトン、魚病 愛媛大学南予水産研究センター 准教授 清水園子
1月20日(土)	<p>【IV. 利用加工・消費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 水産化学・生化学：魚介類の生体成分 愛媛大学南予水産研究センター 准教授 斎藤大樹 ○ 水産物の利用・加工：水産加工、冷凍・冷蔵、水産食品衛生 元愛媛県産業技術研究所 所長 水産学博士 平岡芳信 ○ 水産物の流通・販売：水産物流通、商品開発、販売、消費、地域貢献 愛媛大学南予水産研究センター 教授 竹ノ内徳人
2月17日(土)	<p>【V. 水産経済・水産法規】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 漁業制度と水産法規：漁業権、漁業許可、資源管理制度、水産法規 愛媛大学南予水産研究センター 顧問・客員教授 金尾聰志 ○ 漁業と資源管理：漁船漁業と資源管理の基礎 愛媛大学南予水産研究センター 教授・センター長 松原孝博 ○ 水産経済・経営：水産政策、水産経済、水産経営 愛媛大学南予水産研究センター 教授 竹ノ内徳人

※ 都合により、講義の順番が変更される場合があります。

※ 本講座の内容は、昨年度開催の基礎編とほぼ同じです。